

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第134号

え!? 旧東海道品川宿に13階40戸のマンション計画

区が策定中の景観計画「重点地区」のど真ん中

バックナンバーは 共産党 品川 検索



赤旗まつりは連日快晴に恵まれ、10万人超の参加で、あらたな活力生み出す催しに。要員・ボランティアの皆さんに感謝!



漫画：安藤たい作

「重点地区」
と定め、とりわけ旧東海道およびサクセス通りの道路境界から20mの範囲では、

「重点地区」
と定め、とりわけ旧東海道およびサクセス通りの道路境界から20mの範囲では、

区も景観「重点地区」へ

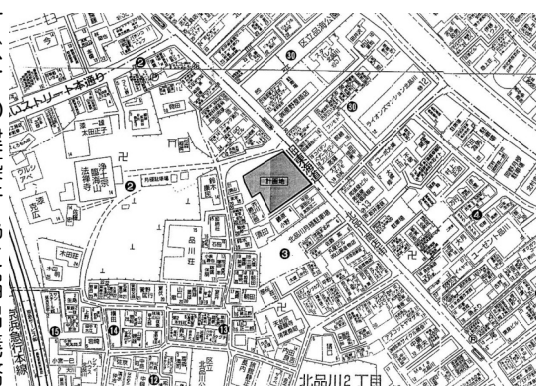
区は、来年4月の運用を目指し、「品川区景観計画」を策定中です。この中で旧東海道品川宿地区を「重点地区」

区は、来年4月の運用を目指し、「品川区景観計画」を策定中です。この中で旧東海道品川宿地区を「重点地区」

「重点地区」
と定め、とりわけ旧東海道およびサクセス通りの道路境界から20mの範囲では、

計画地は旧東海道沿いの北品川本通商店会、北品川商店街の間、商店街のど真ん中に位置し、敷地面積555㎡。ここに13階建て、高さ40m、36戸のマンション。計画では地域が求める1階部分への店舗付置の予定は無く、通りに面して駐車場のターンテーブルや階段室なども配置。近隣は、寺社や密度の高い低層住宅、2階建ての商店などが立ち並び地域であり、際立って高い異質な建築物が建つこととなります。

建築主の一建設が11月6日(土)に行った近隣説明会では、品川第一地域センターの第一集会所が一杯に。質疑では「常識では考えられない計画だ」「どうして高さは変えられないのか」「風害や居住者のマナーも心配だ」「解体工事では、こちらが言わないと何も対策を講じなかった。信頼しなくてはできない」「400年の歴史を持つまちを寸断、壊す。どう考えているのか」など切れ間無く質問や意見が出ていました。



計画地は旧東海道の真ん中に位置。(説明会資料より)

「常識では考えられない」

旧東海道が同じ道幅で残り、路地や寺社、古い家並みなど歴史や地域文化を伝えるまちなみの北品川1、2丁目など品川宿地区。そこに13階建てマンション建設計画が持ち上がり問題になっています。

安藤たい作プロフィール '74年仙台市生まれ。宮城教育大卒。在学時に日本共産党に入党。'98年漫画家を志し上京、'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。現在、二期目。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める使途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。